ゴムの摩擦・摩耗

主　催：一般社団法人日本ゴム協会関東支部
協　賛：高分子学会・自動車技術会・繊維学会・日本接着学会・日本トライボロジー学会・日本表面科学会・
（予定）　プラスチック成形加工学会

日　　時：2017年2月23日（木）午前10時15分～午後4時45分

場　　所：東京電業会館・地下ホール　（東京都港区元赤坂1-7-8　TEL:03-3403-5181　　http://www.todenkyo.or.jp/）

定　　員：60名（定員になり次第締切ります）

受 講 料：**会員21,600円（協賛学会含む），学生会員　無料，会員外32,400円，**
※一度ご納入いただきました受講料は返金いたしかねますのでご了承ください．
※賛助会員は2名まで会員扱いといたします．

申込方法：**HP（http://www.srij.or.jp）から簡単にお申し込みができます．**また，下記の申込書に所定事項を明記のうえ，FAX又は，E-mailでのお申し込みもできます．受講者には受講票をお送りいたしますので，当日の受付時にご掲示ください．

送金方法：銀行振込（三井住友銀行日比谷支店（普）No.3231980　一般社団法人日本ゴム協会関東支部）で開催日までにご送金願います．請求書をご入用の節は，あらかじめ申込書にご記入ください．なお，振込手数料は受講者側でご負担ください．

問 合 先：一般社団法人日本ゴム協会関東支部　アドバンテックセミナー 2017係
〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル
TEL．03-3401-2957　FAX.03-3401-4143/E-mail：srij.kanto＠srij.or.jp

時　間	演　題	講　師
10：15－10：20	開会のあいさつ	関東支部長　高田十志和
10：20－11：20	**「高分子材料のトライボロジー概論」** ゴム・プラスチックをはじめとした高分子材料のトライボロジーについて解説する．特に高分子材料の摩擦や摩耗の基礎を中心に，それらトライボロジー特性を制御するためのポイントについても説明する．	**工学院大学　西谷　要介氏**
11：30－12：30	**「自動車エンジン材料の摩擦・摩耗」** 自動車エンジン用摺動材料は，耐摩耗性向上，低摩擦化の要求に伴い，鉄鋼，セラミックス，硬質コーティング，ダイヤモンドライクカーボンと変遷してきた．その経緯を，実際の摩擦，摩耗の解析事例に基づき解説する．	**元神奈川科学技術アカデミー　加納　眞氏**
13：20－14：20	**「可変なシワによる摩擦機能の拡張」** 摩擦等のトライボロジー特性を必要な時に可逆的に調節できる新しいシステムの実現を目指して，ゴム基材上に作製されるシワ表面の構造可変性を利用した取り組みについて概説する．	**国立研究開発法人 産業技術総合研究所　大園　拓哉氏**
14：30－15：30	**「ゴムの摩擦現象の可視化」** ゴムと突起を摩擦させたときに亀裂が発生する様子をX線イメージング法によって観察した結果について紹介する．亀裂の発生の仕方は、突起との接触状態によって変化した．	**横浜ゴム㈱　網野　直也氏**
15：40－16：40	**「表面分析法（化学分析）を用いた高分子トライボロジー解析」** 表面組成や化学状態を把握し、トライボロジー現象と関連づけることは摩擦摩耗特性を考察するうえで重要である．X線光電子分光法および飛行時間型二次イオン質量分析法の原理と高分子を対象とした事例を紹介する．	**㈱日産アーク　荒木　祥和氏**
16：40－16：45	閉会のあいさつ	関東副支部長　斎藤　　拓

関東支部・アドバンテックセミナー 2017申込書　（FAX，E-Mailでも送信可能です）
（http://www.srij.or.jpよりお申込ください）

（会社名）＿＿＿＿＿＿＿＿　（担当者）＿＿＿＿＿＿＿＿　（所属）＿＿＿＿＿＿＿＿

（所在地）〒　　－　　TEL　　（　　）　　FAX　　（　　）
E-mail

【受講者氏名】＿＿＿＿＿＿＿＿　（所属部課・役職名）＿＿＿＿＿＿＿＿　・会　員　・賛助会員　・学　生
・会員外・協賛学会（　　）

※　上記のとおり，＿＿月＿＿日，受講者＿＿名，計＿＿＿＿＿＿円を送金予定．　請求書　　要　・　不要